

関西学院大学に対する相互評価結果ならびに認証評価結果

全学的な視点

【評価項目】5 学生の受け入れ

総 評

三 長所の伸張と問題点の改善に向けての取り組み

3 学生の受け入れ

「関西学院大学にふさわしい人材の確保」の方針のもと、一般入試のほか、大学入試センター試験を利用する入試、AO(アドミッション・オフィス)入試、推薦入学、スポーツ優秀者を対象とする推薦入試、帰国生徒対象入試、外国人留学生入試、社会人入試など、受験生の特殊性に応じた多様な入試を学部別に行っている。入試の具体的内容については、大学案内誌『空の翼』『入試ガイド』『入試要項』に明記し、広く公表し、受験生に対する説明責任の遂行に配慮している。

一般入試においては、入試問題の検証を外部機関に委託するなど、公正な受け入れに意を注いでいる。収容定員に対する在籍学生数比率は、全学部においておおむね適正である。

なお、各入試方法別の入学者追跡調査の実施は評価できるが、現在学部裁量に任されている学業成績・就職状況・留年率との相関における追跡調査を全学的に実施することが望まれる。

他方、全研究科において、現代の多様なニーズに合わせて、門戸を広くし他大学出身者も受け入れている。また、ほぼすべての研究科において、社会人を受け入れている。「飛び入学」制度を導入し、前期課程への入学者選抜方法を工夫している研究科もある。

なお、収容定員に対する在籍学生数比率については、注意を要する研究科も存在する。たとえば、神学研究科前期課程や理工学研究科物理学専攻前期課程の同比率が極めて高く、文学研究科では専攻によって同比率にかなりの差がある。また、商学研究科では後期課程において同比率が低めである。